

第6回 本庁舎跡地の活用に係る勉強会

開催日時：令和3年12月1日（水） 午後7時～
会場：グリーンパレス 2F 高砂・羽衣

資料

- (1) 第1回～第5回の振り返りと本庁舎周辺地域の状況
- (2) ワークショップ
～ テーマ：地域の課題と伸ばしたい魅力 ～



第1回 令和元年8月27日(火)

勉強会発足

新庁舎建設に向けた検討が本格化し、船堀地区への移転に向けた議論が行われ、現庁舎跡地をどのように活用していくのか検討を行う。



勉強会の目的

庁舎移転後も、中央地区のにぎわいを維持・向上させるため、庁舎跡地の活用方法を研究していく。
年2～3回程度開催し、概ね令和4年度を目途に、本勉強会での研究結果をまとめていく。

主な意見

- ・庁舎建設時、地元住民から土地等が提供されており、この土地には**地域の想いが詰まっている**。
- ・**集客力やにぎわいのある施設**の建設を考えるべき。
- ・区役所の事務手続きができる**事務所機能が必要**。
- ・災害時の**避難場所として活用できる施設**としてほしい。
- ・自由に個人利用できる**スポーツ施設機能**がほしい。
- ・庁舎移転後の**速やかな新施設の開設**を望む。

第2回 令和2年2月4日(火)

中央地域の現状の把握

都市マスタープラン(2019年3月発行)、中央地域における公共施設の配置や本庁舎敷地等の現状を確認し、意見交換を行った。



主な意見

- ・**中央地域の公共施設の再編**もあわせて考えていく必要がある。
- ・**「文化のまち」**であることを活かした**活用方法**が望ましい。
- ・**最寄り駅である新小岩駅**とのつながりも考えていきたい。
- ・**アクセス面の課題**も合わせて検討する必要がある。
- ・跡地には、**住民のニーズにあった、将来を見据えた施設**を作してほしい。





第3回 令和2年11月20日(金)

本庁舎跡地の検討スケジュール



主な意見

- ・どのような施設・建物を建てるかということ、**建ぺい率・容積率などの検討**を合わせて行った方がよい。
- ・本庁舎跡地には、新庁舎等の機能と同じ機能は必要ないのではないか。
- ・**中央地域の公共施設をどのように再編するかも合わせて考え、総合的、専門的に考えて**いただけるとよい。
- ・**どういった施設が建てられるのか、区から示して欲しい。**

第4回 令和3年2月3日(水)

庁舎跡地の事例研究

庁舎跡地の活用事例の1つとして豊島区の
Hareza池袋 (~ からなる)
を研究しました。

Hareza Tower シネマプラザ、オフィス等
東京建物 Brillia HALL 芸術文化劇場等
としま区民センター



主な意見

- ・豊島区の庁舎跡地は駅の近くにあり、立地条件がよい。
江戸川区現庁舎の立地とは異なることを理解したうえで、この立地に合う施設の検討が必要なのではないかと思う。
- ・にぎわいの観点も大事であるが、**永続的に人が行き来するような施設**ができるとよい。
- ・**中央地区は建物が密集しているため、災害対策強化につながるような公園**があるとよい。
- ・円形、ドーム形建物や一部公園があるとよい。
- ・**文化活動拠点**となる多目的ホールがあるとよい。
- ・本庁舎跡地について、**交通アクセスも検討**した方がよい。



第5回 令和3年9月14日(金)

近隣の事例研究をしました！



1. 都内複合施設

文京総合体育館
総合体育館、地域活動センター
五反田文化センター
小学校、幼保一体施設、図書館、プラネタリウム等
赤坂コミュニティぷらざ
総合支所、区民センター、区立住宅等
大田文化の森
ホール、情報館等

主な意見

- ・子どもから熟年者まで気軽に行ける空間になるとよい。
- ・エレベーター等ユニバーサルデザインに配慮する必要がある。
- ・地域の方の意思を念頭に、有効に地域貢献できる施設を考えて欲しい。
- ・さまざまな機能を併せ持つ複合施設にして、幅広い世代が活用できる施設にして欲しい。
- ・さまざまな機能を持った複合施設のように、憩いの場にして欲しい。
- ・大切にこの土地を活用して欲しい。
- ・災害時等には避難所として利用できる場にして欲しい。
- ・大企業や有名な外資系企業に活用の提案をしてみてもどうか。
- ・財政事情も考慮する必要がある。
- ・区には充実した施設が既にあるので、本庁舎跡地に似通った施設を作る必要はない。

2. 区近郊の跡地活用施設

プラッツ習志野
中央公民館、中央図書館、市民ホール等
カルッツかわさき
スポーツ施設、文化施設、会議室等
大和市文化創造拠点シリウス
芸術文化ホール、図書館、屋内子ども広場等

文京総合体育館



五反田文化センター



赤坂コミュニティぷらざ



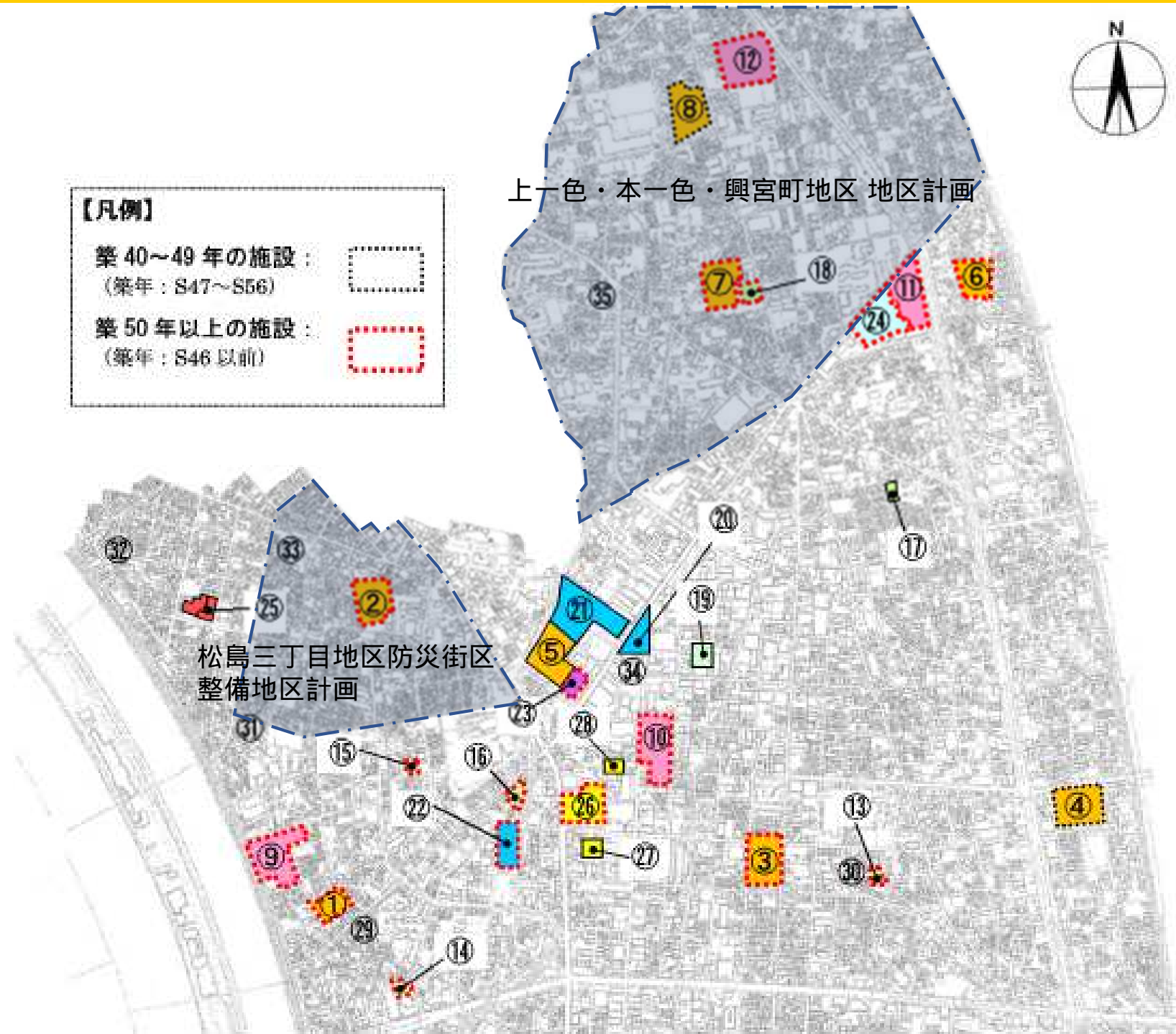
大田文化の森



(1) 第1回～第5回の振り返りと本庁舎周辺地域の状況

- 主な公共施設の配置状況 -

令和3年12月1日 資料



(1) 第1回～第5回の振り返りと本庁舎周辺地域の状況

- 主な公共施設の配置状況 -

令和3年12月1日 資料

	名称	敷地面積	延床面積	築年(経過)	備考
学校	① 第二松江小学校	5,706㎡	4,003㎡	S34 (62)	R4 閉校
	② 西小松川小学校	7,618㎡	5,199㎡	S41 (55)	
	③ 大杉小学校	6,611㎡	4,820㎡	S42 (54)	
	④ 大杉第二小学校	10,213㎡	5,141㎡	S49 (47)	
	⑤ 第三松江小学校	10,723㎡	8,133㎡	H29 (4)	改築済
	⑥ 鹿本小学校	6,975㎡	4,491㎡	S44 (52)	
	⑦ 本一色小学校	10,053㎡	4,937㎡	S42 (54)	
	⑧ 上一色南小学校	11,016㎡	6,381㎡	S47 (49)	
	⑨ 松江第二中学校	11,690㎡	6,661㎡	S35 (61)	
	⑩ 松江第三中学校	8,478㎡	6,588㎡	S36 (57)	
	⑪ 鹿本中学校	9,316㎡	7,073㎡	S43 (53)	
	⑫ 上一色中学校	11,024㎡	6,622㎡	S36 (60)	
保育・子育て支援施設	⑬ 大杉保育園	1,097㎡	654㎡	S43 (53)	
	⑭ そよ風松島荘、南松島保育園	1,308㎡	1,395㎡	S45 (51)	
	⑮ 松島おひさま保育園	823㎡	577㎡	S40 (56)	
	⑯ 東小松川おひさま保育園	2,363㎡	1,153㎡	S43 (53)	
	⑰ 松本おひさま保育園	1,376㎡	991㎡	H20 (13)	
	⑱ 鹿本育成室	3,334㎡	1,407㎡	S40 (56)	
	⑲ 児童相談所	2,285㎡	4,508㎡	R2 (1)	

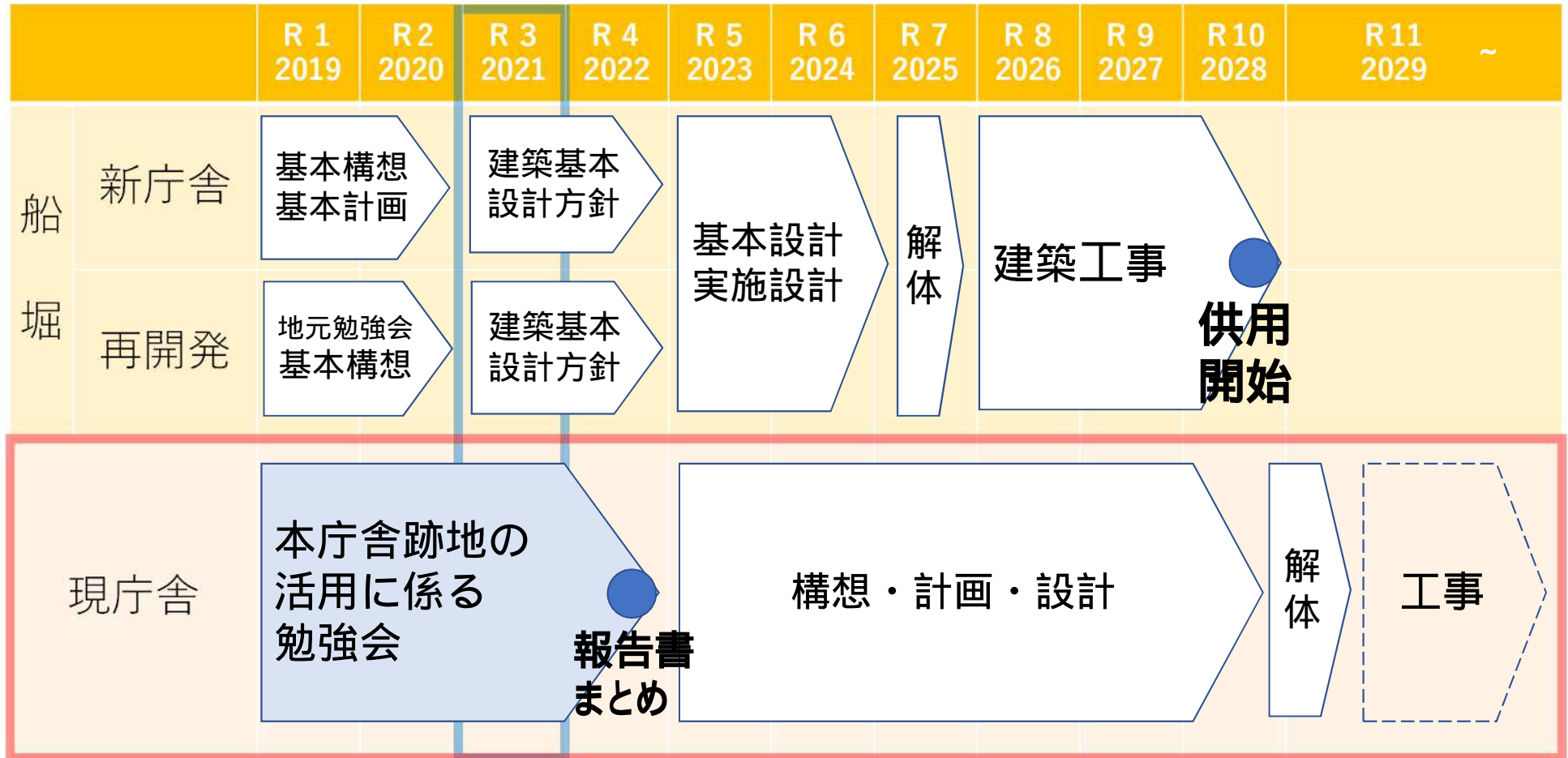
	名称	敷地面積	延床面積	築年(経過)	備考
文化施設	⑳ 中央図書館	3,888㎡	7,500㎡	H12 (21)	
	㉑ 総合文化センター	10,361㎡	16,495㎡	S57 (39)	
	㉒ グリーンパレス	3,739㎡	9,318㎡	S40 (56)	
健康	㉓ 江戸川保健所、中央健康サポートセンター	1,857㎡	1,450㎡	S46 (50)	
スポーツ	㉔ 総合体育館	10,142㎡	10,285㎡	S45 (51)	
庁舎・その他	㉕ 松島コミュニティ会館	3,446㎡	—	—	R4.3 会館予定
	㉖ 区役所本庁舎	7,553㎡	17,428㎡	S37 (59)	
	㉗ 区役所分庁舎	1,056㎡	1,572㎡	S62 (34)	
	㉘ 区役所第二庁舎	718㎡	1,711㎡	H4 (29)	
地区会館	㉙ 五分一会館	201㎡	227㎡	S59 (37)	
	㉚ 中央五南会館	142㎡	169㎡	S56 (40)	
	㉛ 松島南会館	292㎡	241㎡	S63 (33)	
	㉜ 松島西会館	375㎡	270㎡	H3 (30)	
	㉝ 松島東会館	312㎡	272㎡	H9 (24)	
	㉞ 中央東西会館	284㎡	223㎡	S60 (36)	
	㉟ 本一色会館	—	185㎡	S59 (37)	区営住宅1階

※経過年数は、令和3年4月1日を基準日として記載。

【一覧表での表記】

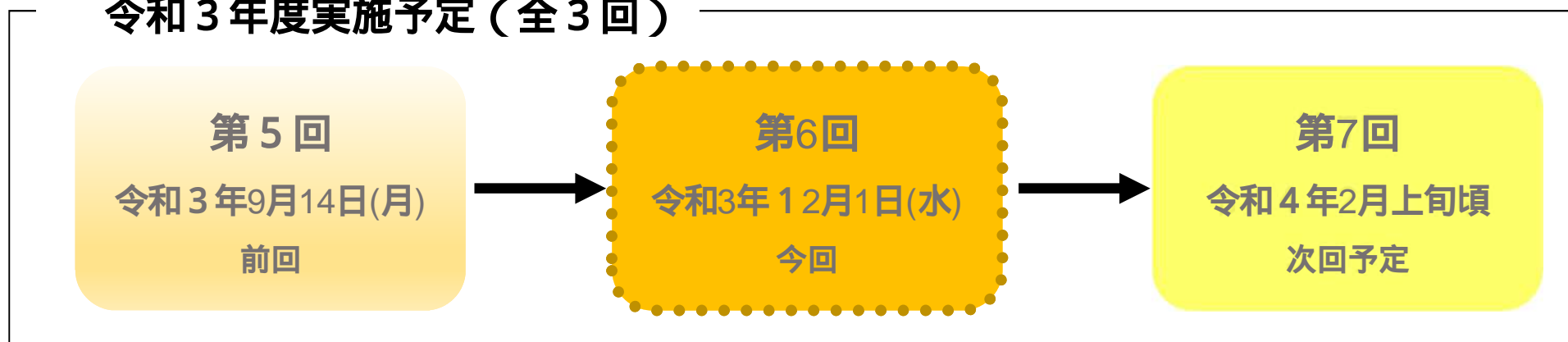
- ・明朝体・・・築40年未満の施設
- ・ゴシック体(黒)・・・築40～49年の施設
- ・ゴシック体(赤)・・・築50年以上の施設

【スケジュール（案）】

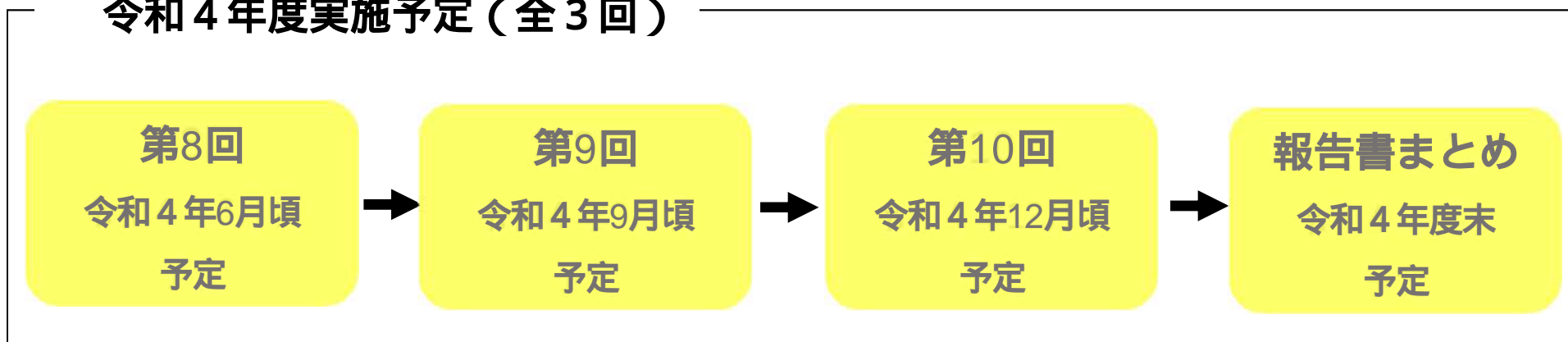


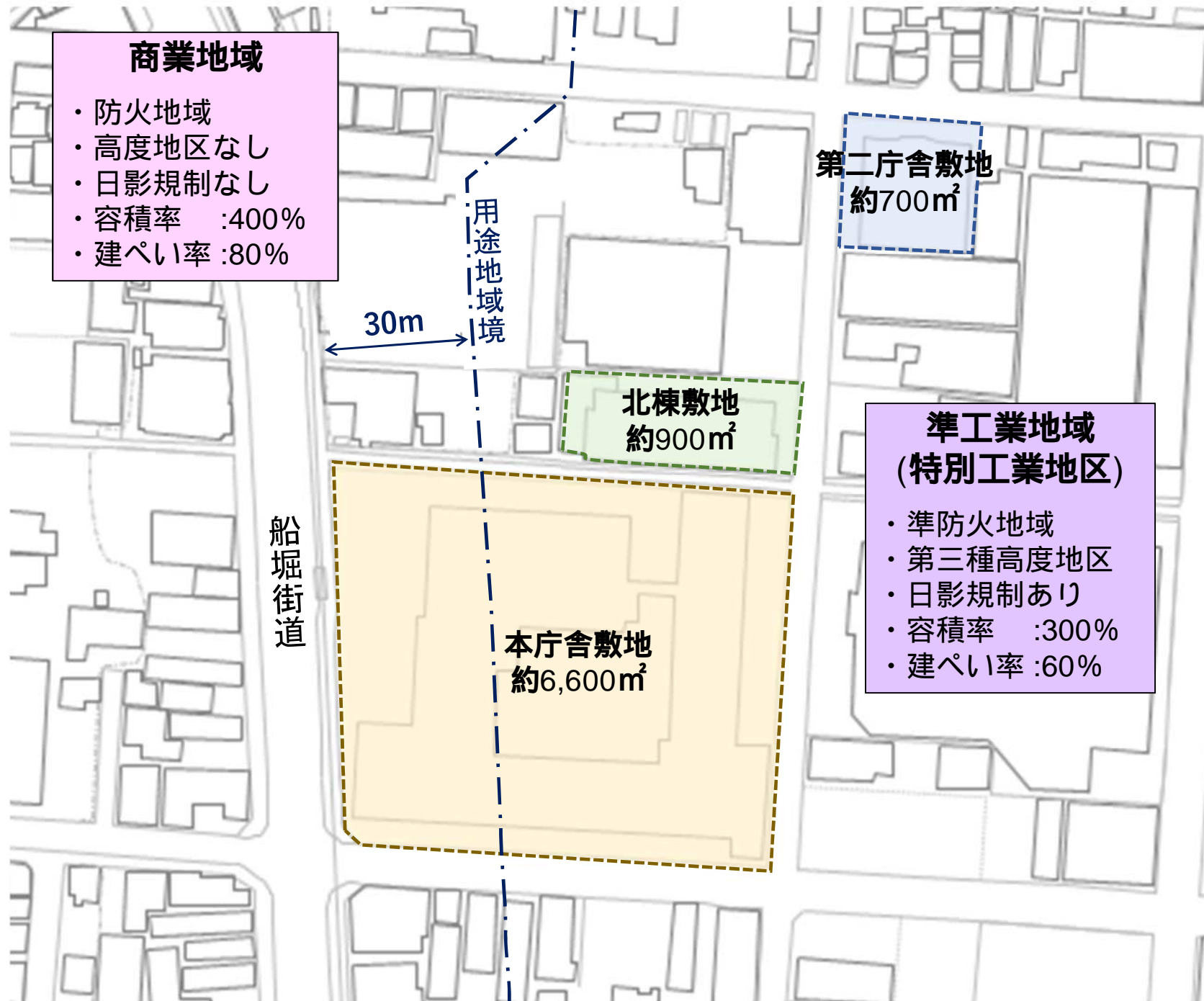
- 次回の勉強会は令和4年2月上旬頃を予定しています。
- 詳細については改めてご連絡します。

令和3年度実施予定（全3回）



令和4年度実施予定（全3回）





江戸川区役所

- 本庁舎（北棟含む）、分庁舎、第二庁舎、第三庁舎で構成されています。

本庁舎（北棟含む）

所在地：中央1丁目4番1号

整備年：昭和37年（築59年）

敷地面積：約7,553m²

第二庁舎（土木部）

所在地：中央1丁目10番5号

整備年：平成4年（築29年）

敷地面積：約718m²

分庁舎（生活援護第一課）

所在地：中央1丁目3番17号

整備年：昭和62年（築34年）

敷地面積：約1,056m²

第三庁舎（都市開発部）

所在地：中央1丁目5番3号

（東京電力社屋1階を借受）

松島コミュニティ会館

- 令和4年3月13日にオープン予定です。

所在地：松島4丁目25番6号

敷地面積：約3,446m²

- 文化活動や屋内スポーツなど、地域の皆さんの交流の場となる施設です。

児童相談所はあとポート

- 江戸川区の全ての子どもたちの健やかな育ちを見守り支える施設です。
- 「江戸川区の子どもは江戸川区で守る」をモットーに、相談援助活動を展開しています。

所在地：中央三丁目4番18号

整備年：令和2年（築1年）

敷地面積：約2,285m²

主な施設：児童相談所、地域交流スペース、子育てひろば

総合文化センター

- 江戸川区の『文化の殿堂』として開館しました。
- 1500席の大ホールや500席の小ホールを擁し成人式の会場としても区民に馴染みの深い大型施設です。

所在地：中央4丁目14番1号

整備年：昭和57年（築39年）

敷地面積：約10,361m²

主な施設：大ホール（1500席）、小ホール（500席）、研修室、会議室、展示室、レストラン

総合体育館

- 主競技場・トレーニング室・柔道場・剣道場・卓球室・弓道場・アーチェリー場・エアライフル射場・温水プールなどがあります。
- 各種スポーツ教室を開催しています。

所在地：松本1丁目35番1号
 整備年：昭和45年（築51年）
 敷地面積：約10,142 m²
 主な施設：主競技場（観客席360席）、温水プール、柔道場、剣道場、トレーニング室、弓道場、アーチェリー場、卓球室、エアライフル射場

グリーンパレス（区民センター）

- 各種文化活動や行事、集会や会議など、様々な用途でご利用いただけるコミュニティ施設です。
- 様々な用途に応じて活用できるバンケットルーム（宴会場）があります。

所在地：松島1丁目38番1号
 整備年：昭和40年（築56年）
 敷地面積：約3,739m²
 主な施設：ホール、バンケットルーム、集会室、音楽室、レストラン、音楽室

中央図書館

- 「来てよかった」「行けば何か新しい発見がある」図書館を目指して、豊富な資料と各種サービスをご提供しています。
- 江戸川区内全図書館の中心館としてより魅力的な図書館づくりを心がけています。

所在地：中央3丁目1番3号

整備年：平成12年（築21年）

敷地面積：約3,383 m²

主な施設：閲覧室、講習室、視聴覚ホール
研修室、録音室

江戸川保健所、中央健康サポートセンター

- 感染症対策、難病等の医療費助成、自殺防止対策等の業務を行っています。
- 併設する中央健康サポートセンターでは予防接種や健診のほか、生活習慣病予防等の啓発などを行っています。

所在地：中央4丁目24番19号

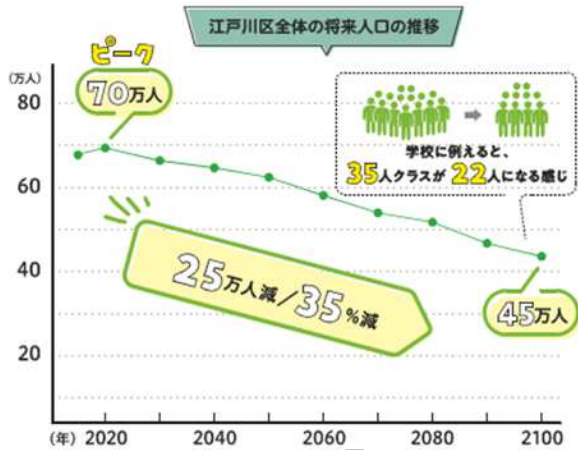
整備年：昭和46年（築50年）

敷地面積：約1,857 m²

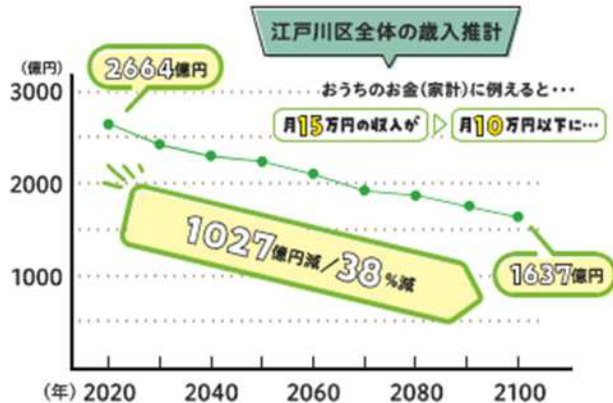
本区の公共施設は昭和30年代から昭和50年代に集中して建設されたものが多く、老朽化が進んでいます。さらに、2100年を見据えて持続可能な行政サービスを実現するためには、施設の複合化や多機能化を含めた公共施設の再編計画の策定に取り組む必要があります。

・公共施設の成り行きの未来

人口の減少



予算の減少



公共施設への影響



子どもの数は約40%も減り、定員に空きができる保育園も、手当や補助金なども、今と同じように続けることが難しくなります。



校舎は古くなっていきますが、お金が足りず、十分に建て替えや修理ができなくなってしまいます。



スポーツ施設やコミュニティ会館などの数を3分の2に減らさなければ、維持するお金が足りなくなります。

公共施設の再編計画を策定

・公共施設の明るい未来

施設の安全・安心な利用



持続可能な行政サービス



効率性・利便性のアップ



広報えどがわ令和3年4月15日号から一部抜粋

公共施設に関するこれまでの検討経緯

（１）公共施設等総合管理計画【平成29年3月】

国からの要請に基づき策定。計画期間は30年
対象は、公共建築物とインフラ（道路・橋梁・公園等）
適切な維持管理・更新・長寿命化及び財政負担の平準化に向けた取組方針

（２）公共施設が抱える課題と今後の検討の方向性【平成29年4月】

公共施設（約240の主な区有施設）の現状と課題を整理
施設ごとに敷地面積・延床面積・築年数を記載。地区別に整理

（３）大型公共施設の現状と再編・整備に向けた今後の検討の方向性【平成30年6月】

対象は、区民利用に大きく影響する文化・スポーツ・区民館・図書館
人口構造の変化や財政負担、利用者数、利用者の声を総合的に整理・分析
学校統廃合・改築に伴う学校用地や、大規模敷地の創出も検討要素に加味



公共施設を取り巻く課題や代表的な施設の検討の方向性は示しているが、
再編・整備に係る基本方針や具体的な取組方針が整理されていない

(仮称) 江戸川区公共施設再編・整備計画とは

(仮称) 江戸川区公共施設再編・整備計画は、今後老朽化がさらに進む公共施設の全体を把握し、長期的視点をもって更新や長寿命化などを計画的に行うための計画で、**令和4年度末の策定**を目指しています。

2100年を見据えた**財政的な負担を軽減・平準化**を目指し、今後の**人口構造の変化や施設需要の変化に対応した公共施設等の将来像を検討**します。

記載項目例(案)

公共施設の情報

公共施設の保有量やその推移、老朽化に関するデータ等を記載。

公共施設の将来経費

公共施設の維持管理や更新に要する経費を分析。

再編・整備の基本方針

公共施設の維持管理・更新についての基本方針を記載。

施設類型別の整備方針

公共施設の効率的な整備・運営を目指し、施設の類型別に規模や配置の仕方等を検討。

本日の目的

**本庁舎周辺地域に対するみなさまの想いを
お互いで共有する**

具体的なテーマ

1

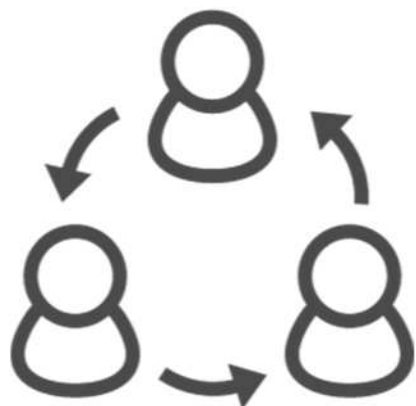
地域の課題は？

2

地域の伸ばしたい魅力は？

ワークショップの進め方

手順1



お一人ずつ
テーマに沿ってご発言
(各1分程度)

手順2



お一人ずつの
ご発言を踏まえ会話
(進行役が司会をします)

手順3



最後に
各テーブルでの会話を
発表

その他（お願い）

- ご発言は、事務局でメモを取らせていただきますので、ご自由にご発言ください
- お互いがこの地区に対してどのような想いを抱いているのか共有するため、できるだけ、みなさん同士で共感し合ったり、質問し合ったりしてください